

愛道

第93号

発行・平成19年5月1日

社会福祉法人 足羽福祉会



- ・新しい環境へ…入所から作業活動参加までの道のり（足羽更生園）・・・**2・3**ページ
- ・食欲へとつながる第一歩ーいつまでもおいしく食べたいー（愛全園）・・・**4**ページ
- ・魅力ある保育園へ 子どもが楽しめる環境づくり（足羽東保育園）・・・**5**ページ
- ・「足羽ワークセンター第二事業所」が開設しました（足羽ワークセンター）・・・**6・7**ページ
- ・措置から契約へ ～児童施設における現状～（足羽学園）・・・**8**ページ
- ・効果的なレクとは（足羽利生苑）・・・・・・**9**ページ

心地よい日差しと風の中を散歩「あっ、こんな所にもお花がある！」土手に咲いた小さな花を見つけ、そおっと手の中に「ママにあげよう」と子どもから家族へ素敵なプレゼントです。

（足羽東保育園）

春になり新生活が始まった方も多いと思います。新たな環境にわくわくした期待がある反面、不安もあるのではないのでしょうか。

言語や物事を理解することが難しい利用者の方にとって、環境が変化することは簡単に受け入れられるものではなく、大きな混乱を来すことにもなりかねません。特に新しく入所される利用者の方への支援には、十分な配慮が必要です。今回は平成十七年二月に入所されたAさんを紹介します。

学園から 更生園へ：

Aさんは併設する足羽学園から移行してきました。併設とはいえ、児童施設と成人施設との違いもあり、Aさんにとって生活する環境が一変しました。寝る場所、食事する場所、作業する場所・内容・時間、ありとあらゆるものが変わることになりました。

変化の中の大きな問題の一つに他の利用者の方との個室がありました。足羽学園では個室でしたが、足羽更生園では四人部屋になりました。新しい居室で過ごすことには抵抗がないようでした。しかし、同室の方を居室から追い出すことが見られ、食事や作業などの活動でも居室を離れ

ることができませんでした。食事に行くにも何度も声をかける必要があり、作業へは参加することもできませんでした。

Aさんは広告が好きで、集めた広告を床に敷き詰めます。活動への移動が難しい中、広告の収集は過度になっていきました。やがて居室一面が広告でいっぱいになってしまいました。



環境へ… 作業活動参加 までの道のり



以前は畳一面が広告でいっぱいでした

Aさんの エリアを作る

私たちはAさんの行動の要因が、同室の方に大事な広告を触られることが嫌なためではないかと考えました。そのため、大きめのダンボールを用意し、その中に収集するようになり、居室に仕切りのカーテンを取り付けたりして、Aさんのエリアを視覚的にも確保しました。

時間が経つにつれ、少しずつ食事への移動はスムーズになってきました。それでも居室を離れる不安は消えなかったようです。

自分のスペースに 広告を！

Aさんは自分で置いた広告の位置がずれるのをとても気にしていました。広告を畳の上に敷き詰めていたのでは、人に踏まれることや戸の開閉で動いてしまいます。そこで、不要となったテレビ台を個人スペースとして提供しました。仕切りの付いたテレビ台の中なら、広告はほとんど動くことはありません。テレビ台を使うことで不安は薄れていったようです。テレビ台の中に広告を置くことが定着してきました。



大切な広告
テレビ台の中なら動かず安心

「好きな歌」



足羽福祉会

好きな歌

足羽更生園編

◆カラオケクラブの人気曲
足羽更生園のカラオケクラブで、よく歌われている曲を紹介します。

*女性の利用者の方に人気!!

「赤いスイートピー」

「風立ちぬ」

「みかんの花咲く丘」

*男性の利用者の方に人気!!

「矢切の渡し」

「浪花節だよ、人生は」

「ああ、人生に涙あり」

(時代劇・水戸黄門の主題歌)

*誰でも歌えば元気に!?

「マツケンサンバ」

「頑張りましょう」

最後に「サライ」をみんな
で歌っています。

居室を離れ、
作業場へ！

次に活動への参加を考えました。まずは作業活動の場に移動する、活動の場に参加することを視野に入れて支援しました。

声かけを毎日繰り返すことで徐々に作業場所に移動できるようになっていきましたが、肝心の活動の場でAさんが取り組めることがありませんでした。Aさんの所属するグループは外部から委託された製品の組み立てなのですが、その組み立てには力やコツがいるため、Aさんには困難な内容でした。

また、そのときの作業グループでも問題がありました。組み立てられた製品を職員が検品し、二五〇個ずつ袋に詰めるのですが、製品の検品が追いつかず、数を数える所までできていませんでした。



新しい 入所から



作業活動での 役割

そんなとき製品を立てて入ると二十五個入りそうなケースを見つけました。この工程を十回繰り返しさえすれば二五〇個となり、一袋作れます。仕切りの付いた所に一個ずつ正確に入れていくのは、Aさんに合った作業のように思いました。

Aさんに二十五の仕切りの付いたケースを用意し、
① ケースに二十五個入れる
② ①を袋に空ける
③ 十個用意したおはじきを一つ、通称「貯金箱」の中に入れる

①③を十個のおはじきがないくなるまで繰り返します。
これらの工程を伝えると、
二五〇個の袋詰めを行うこと

ができました。それまで作業場まで移動はできてもすぐ居室に戻っていたAさんでしたが、終了時間まで作業に取り組むことができるようになってきました。

利用者の方の支援をしながら二五〇個を数えるのは職員も大変でしたが、Aさんが袋詰めを行うことで検品が多くなることがなくなりました。また、職員が行っていた工程を利用者の方ができるようになったことで「利用者自身の仕事」という意識がより強まりました。

気になっていて問題を解決し、Aさんらしさを発揮できるよう「環境」を調整していくことが私たち職員の大事な役割だということをAさんは教えてくれました。
現在もまだAさんの支援は試行錯誤で継続中ですが、これからAさんと同じ目線に立って支援を続けていきたいと思っています。

足羽更生園

生活支援員 渡辺 浩基

さあ、作業開始！！

①25個きっちり
入れよう



③おはじき貯金箱へ入れる

①～③を繰り返す

おはじき10枚入れたら1袋完成！



②ケースから袋へ

「好きな歌」

◆好きな歌はなに？

歌はいいですよネ。その歌が流行ったころの時代背景やそのときの自分の状況を思い出します。利用者・職員の皆さんに好きな歌と好きな理由を聞いてみました。

【利用者編】

*ちびまるこちゃんの歌

「ピーヒャラピーヒャラが好き」 Oさん

*憧れのハワイ航路

「岡晴夫さんが好きだから、聞き慣れているので」 Tさん

*世界にひとつだけの花

「スマップが好きだから」 Iさん

*酒場ひとり

「悲しい感じが好き」 Sさん

【職員編】

*千の風になって

「聞いていると何となく涙が出てくる」 Kさん

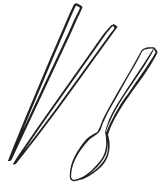
*コブクロの「桜」

「曲の感じが癒される」 Sさん

*踊る大捜査線のテーマ

「大好きな歌なので、自分の結婚式の入場曲に使った」 Yさん

食欲へつながる第一歩



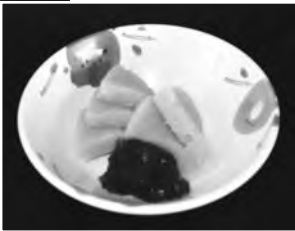
— いつまでもおいしく食べたい —

私たちが生きていく上で、必要なことのひとつが「食べること」です。しかし、食べることだけでなく「おいしく食べること」はとても大切なことです。

愛全園では、入所されている全ての利用者の方に、満足した食事をしていただくために「ソフト食」を取り入れることにしました。今回は、その取り組みを紹介します。



煮物の食に
このソフト
たけのこが
なる...



当園では現在、食べ物を噛むことや飲み込むことが困難な利用者の方に、刻んだりミキサーにかけたりと、食べ物の形をくずし、食べやすい状態にした食事を提供しています。しかし、その状態ではどのようなおかずか分からず、食べる楽しみの一つである「見た目」が損なわれ、食欲も無くなってしまうのです。

そこで取り入れたのが「ソフト食」です。ソフト食とは、細かく刻んだ状態の食べ物に、つなぎを使用したり、調理方法を工夫したりして元の形を再現したものことです。軟らかいけれど、しっかりと食べ物の形があり、歯がない方でも、舌で食べ物が押しつぶせる硬さになっています。

● 栄養士の話 ●

「おいしい食事」とは何か。栄養面・安全面を重視した食事だけではいけないのではないかという思いと、配膳された食事を見て「おいしそう」「食べたい」と利用者の方の食欲をそそるものでなければいけないという思いから、ソフト食を取り入れてみることにしました。

研修に参加したり、業者の方に来ていただき、園内で勉強会を開いたりして、まずは毎日の食事を作る厨ソフト食への取り組みは、味わう楽しさだけでなく、見て「おいしそう」と感じ、食欲へとつながる食事提供の第一歩だと考えています。

今後は、職員の試食会も開き、さまざまな立場からの意見も聴きながら、利用者の方に「安全でおいしい食事」を提供していきたいと思っています。

介護職員 榎波 幸代



“おいしい” 笑顔が広がります

● 職員の声 ●

初めて見たときは、ミキサー食の印象が強かったためか驚きました。今までと比べ、見た目が全く違うので、とても良い取り組みだと思いました。

愛全園編

愛全園では、カラオケやボランティアで来られるアコordeon演奏のときに、必ずといって良いほどうたっている歌があります。タイトルは「幸せのうた」といい、千昌夫の「星影のワルツ」の歌詞をかえてうたっているものです。

「好きな歌」

“一度だけの人生を大事に・楽しく・助け合って生きていく”という歌で、一回聞くと忘れられないメロディーと歌詞です。

これからも、ずっとうたい続けていきたいと思っています。



フロアに歌声が響きわたります

魅力ある保育園へ

子どもが楽しめる環境づくり

足羽東保育園を第三者の目で見るとどのような園なのだろう。また、子どもや保護者にとって魅力的な保育園とはどんな保育園なのかという思いから、私たちは当園の保育内容の見直しを行いました。そして、子どもたちがより一層楽しんで園生活が送れるよう環境を整えました。今回はその中の新しい試み、ちよつとした工夫を一部紹介します。

“いち”“に”のジャンプ

子どもの挑戦する気持ちや、友達と競い合う力を育てていくために、動物幅跳び（かめ→バッタ→カエル→うさぎ→カンガルー）のコーナーを設けました。目標はカンガルーまでの到達です。

また、天井から吊り下げたキャラクターは、ジャンプでタッチすると音になり、クリアごとに高さが調節できるようになっています。

子どもが目安を持てるような環境を整えることで、たくましい力につながっています。



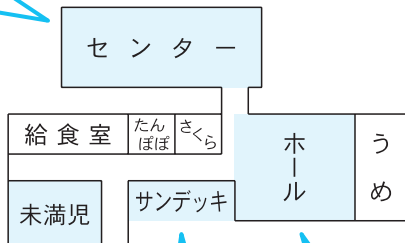
ポケット一つで楽しいトイレ

未満児さん（0, 1歳児）が喜んでおしっこに行けるように、トイレの壁には大好きなキャラクターを貼り、楽しい環境を整えています。また、トイレトーパーをまだ上手に切れないことから、ペーパーを一回分ずつ小分けし、キャラクターつきのポケットに入れています。「アンパンマンにする！」と自分で好きなポケットから出して、楽しみながら自立に向かっています。



一日の大半を保育園で過ごす子どもたちにとって、生活の場が楽しいことは大切です。保育園の空間を子どもたちと一緒に変化させながら、みんなで育ち合う場をつくり、魅力的な保育園づくりをしていきたいと思えます。

保育士 吉田 圭那
高野 藍



四季のあるサンルーム

あたたかい日差しに包まれ、そよ風が吹き、また、ちょうちょやとんぼが飛んできたり、木の葉が舞い込んだりと、四季とともに様変わりするサンルームは、子どもたちが大好きな場所です。ここでは、四季を感じながら自然遊びができたり、夏には水遊びやプール遊びの場となります。



また、時には外での食事やおしゃべりの場になるなど、魅力的に変身する場所です。

自由に変化する遊びの空間

広いホールでみなで遊んだり、またあるときはそれぞれの子が好きな空間で遊び込めるよう、ダンボールのついたてでコーナーを作ります。ちよつとした工夫でホールがいくつもの部屋に早変わりです。子どもたちの遊びから生み出された楽しい模様替えです。



「好きな歌」



いつの時代でも子どもたちの夢は運転手さん。憧れの運転手さんになりきって、ハンドルを持ち、さあ、出発!!

*大型バス



今からどんなお話が始まるのかな? ワクワクしながら歌っている子どもたちです

♪おはなし おはなし
パチ パチ
パチ パチ
うれしいおはなし
たのしいおはなし
うれしい
しい
しい
ずかにききましょう

*絵本の読み聞かせの前に

て、子どもたちも負けないほど元気いっぱい歌います



大空を堂々と泳ぐ
こいのぼりに向かう

*こいのぼり

足羽東保育園編

ター
所開設
が
しました!!

を通して～

また、作業開始後の利用者の方の出勤方法や、日中活動のスケジュール、それらに伴う職員の勤務時間や配置の変更など、さまざまな検討項目がありました。そのため、職員が検討項目ごとに分かれ、何度も話し合いを行いました。そして、



出発時間までに乗車しています

作業棟の
移転が決定!

足羽ワークセンターには作業場所が二ヶ所あり、それぞれ「作業場」「作業棟」と呼ばれていました。今回移転した作業棟は、正式に移転が決定してから取り壊しまでの期間が短かったため、早急に検討・対応しなければいけませんでした。

移転は単に荷物の引っ越しだけではなく、新作業場で行うか、それによつての利用者の方の所属分け、新作業場内の配置などを考えました。

で、引っ越し準備から作業開始までの具体的な段取りや方法を考え、予定通り開始することができました。

いよいよ
引っ越し開始

事前に利用者の方に、制度の移り変わりやワークセンターの方針、作業棟移転の状況を説明し、ご理解を頂きました。引越は職員とともに利用者の方も意欲的に取り組まれ、大きな棚や机、作業部材などの重い荷物も力を合わせて運び、共に汗を流しました。そして、何もない広い作業スペースに運んだ荷物を安全に作業しやすく、誰もが分かる、



お弁当運びは僕に任せて!

第二事業を
開始して…

利用者の方はマイクロバスで第二事業所へ移動しています。始めは出発時間ギリギリにしか集合できませんでしたが、それが一ヶ月ほどで変化が見られ、現在では十分前には集合され、出発を待っている状態です。

「好きな歌」

足羽ワークセンター編

(利用者編)

・『たからもののうた』

(ナナ・イロ)

歌っている人が福井県出身だし、いい曲だから。

・『世界に一つだけの花』

(スマップ)

かっこいい歌だし、スマップが好きだから。

・『三日月』

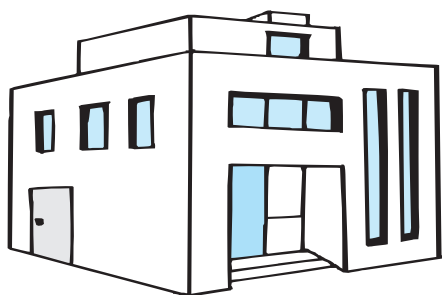
(絢香)

雑誌に載っていた歌詞を読んで感動したから。

・『月のしづく』 (RUI)

最近の歌にはない古風な歌詞が良かったから。





足羽ワークセン 第二事業

～作業棟移転



重い材料も協力して運びます

第二事業所は建物の二階・三階にありますが、今のところは荷物を運ぶエレベーターがないため（平成十九年度に設置予定）、作業の材料運びなど、利用者の方と職員が協力して行っています。

これらは当番制ではありませんが、自然と自主性・積極性が生まれ、声かけをしなくても行動できるようになってきました。まだまだ設備が

整っていない中、利用者の方、職員ともども悪戦苦闘していますが、作業棟の移転を通して、環境が変わっただけではなく、このように利用者の方にも変化が見られるようになりました。



新たな気持ちで作業に取り組んでいます

実体験から 得たものとは

私たち職員は、全く何もない所から形を作っていく難しさを痛感し、無事に終わるのだろうかという不安がありました。しかし、今回の引っ越しは利用者の方と職員が一つになれたから

こそ、やり遂げることができました。この体験を通してお互いが協力・助け合いの大切さを学んだのではないのでしょうか。

また、日中活動の場と居住の場を分けたことにより、環境と気持ちにメリハリができ、利用者の方の意欲が高まってきました。

これからさまざまな問題や困難があると思われると思います。今後も利用者の方と共に立ち向かい、貴重な体験を重ね、お互いが成長していきたいと思っています。

「好きな歌」

・『決意の朝に』
（職員編）

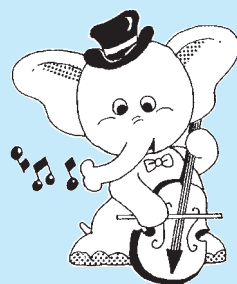
子どもがよく口ずさんでいたから自然と好きになった。

・『心の旅』（チューリップ）
青春時代の思い出の曲だから。

・『さあさあドッコイショ』
（ヨサコイ）
ヨサコイ仲間と熱くなり、何度も踊った曲だから。

・『ポプラの木』（合唱曲）
卒業式の前にクラス全員で何度も練習して、心に残っているから。

・いろいろな童謡
年の離れた弟を背負いながら、子守唄代わりにたくさん歌った思い出があるから。



措置から契約へ

障害者自立支援法が平成十八年四月一日に施行されました（詳細：愛道九十一号参照）。児童施設である足羽学園は、同年十月より従来の児童福祉法にもとづく措置制度から利用契約制度へと変更になりました。

今回は施設の利用形態についてのみの変更であり、児童相談所と学園の関係などの基本的枠組みについては今までと変わりません。しかし、措置ではなく福祉サービスの利用ということで利用者に対しては、原則一割負担の導入及び教育費の全額負担が生じることになりました。

学園では昨年度、二回にわたり福井県の担当者を講師として迎え、保護者及び職員に対して説明会を開催しました。それによって制度の仕組みについて理解を深め、昨年九月末、保護者の方とともに利



用契約の締結に至りました。では利用契約になって何が変わったのでしょうか。足羽学園は実質県下唯一の児童施設です。創立以来、発達期を中心とした利用者の早期療育を目的として、専門的な事業を展開してきました。

その上で、児童期を過ぎた利用者や、長期休暇期間中の高等部の利用者については法人を主体に足羽更生

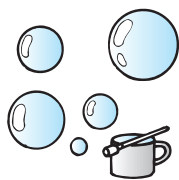
～児童施設における現状～

園と密接に連携して、更生園の日中活動に参加していただき、支援の充実を目指します。

また、在宅サービスについてはこの制度で、従来の短期入所事業（ショートステイ）が宿泊のみの利用となり、日帰りについては日中一時支援事業と位置づけられました。各受け入れ定員も五名ずつと計十名が利用できるようになり、在宅の方の相談支援も含め更なる充実を図っていきます。

障害者自立支援法が施行され、まだまだ不透明な要素が多数あります。ましてや児童に関しては、利用契約という流れにもいささか疑問を感じざるを得ません。しかし、増大する福祉サービスを皆で負担し、支えあう仕組みというのはこの制

度の逃れられない一面です。足羽学園も財政が困窮する中、それでも創立以来の原点に根ざし、児童施設に与えられた役割を再認識し、利用者の方の期待に添えるように、質の高いサービス提供を続けたいと思います。



「好きな歌」



笑顔できいてるね!!

・『アラレちゃん音頭』や『おそ松くん音頭』の入った音楽がかかるとフロアで楽しそうに聴いているCさん！テープが終わると職員の手を引いてもう一度と催促する程のお気に入りだよ♪



真剣な眼差しだね!!

・『アンパンマン音頭』がかかる、ビデオの踊りに合わせて一緒に上手に踊るAさんとBさん！今年の夏祭りにはぜひともみんなの前で踊ってね！

足羽学園編 好きな歌なくに？

効果的な レクとは

足羽利生苑では、利用者の方にさまざまなレクリエーション活動（以下レク）を提供しています。レクは楽しんで行うことが第一ですが、他にもいろいろな目的があります。今回は私たちがどのような視点からレクを考えているかを紹介します。

レクとは広い意味では、より楽しい生活を送るための活動を指します。例えば、家族との触れ合い、利用者の方同士のコミュニケーション、行楽地への外出、芸術観賞などもレクに含まれます。

今回は特に、施設で行う多人数でのゲームに焦点を当てたいと思います。

多人数でのゲームを提供する際の留意点

■そのゲームには どんな魅力があるのか

▽勝ち負けを競うゲーム…

「勝ちたい」という競争心がわき、集中力が高まり、脳の活性化につながる。

（例）ボーリング

▽互いに協力し合うゲーム…

利用者の方同士の連帯感を強めることができる。

（例）下に落ちないように風船をパスし合う

■参加している方の特性を理解する

- ▽身体的状況（まひの有無・聴力など）
- ▽心理的状況（不安・興奮など）
- ▽趣味・嗜好
- ▽余暇歴・職業歴

■利用者の方のどの部分に働きかけるレクなのか

▽頭を使う…

認知力に働きかけ、脳の活性化を図る。
（例）カルタとり

▽身体を使う…

身体を動かして、体力の維持・増強を図る。
（例）ボール投げ

▽心に働きかける…

回想などによって、感情をゆり動かしてもらえるようにする。
（例）思い出の歌を歌う



集中して挑戦しています

足羽利生苑
生活相談員 錦織 郁裕

レクを提供する際には、これらの点に留意し、効果的に楽しんでもらえるものを考える必要があります。また多人数ですとはいえ、一人ひとりの様子を確認し対応していくことも重要です。

目的に沿ってレクを計画しなければ、ただの時間つぶしや介護者側の自己満足になってしまいます。そうならないためにも、私たちは常に工夫をこらし、レクを創り出していかねばなりません。

そして効果的なレクによって、利用者の方のいきいきとした表情を引き出していくところが、私たちの目指すところであり、レクの意義であると思います。

「好きな歌」

足羽利生苑編

好きな歌は 何ですか？

利生苑の利用者の方にどんな歌が好きかを聞いてみました。その中でいくつかを紹介します。

●『誰か故郷を想わせる』
（昭和歌謡）

「いい歌や」

【70代男性利用者】

●『りんごの歌』

（戦後のヒット曲）

「昔よく流れていた」

【80代女性利用者】

●『戦友』（軍歌）

「戦場で歌った」

【90代男性利用者】

●『戦友』（軍歌）

「知り合いが何人も（戦場に行）ったから忘れられん」

【90代女性利用者】

その方の好きな歌を聞くと、どんな人生を歩んできたかを垣間見ることができ、いろいろと考えさせられました。



できごと アラカルト

愛全園



ジョイフル外出にて

足羽利生苑



ミニ運動会にて

足羽ワークセンター



成人式にて

足羽学園



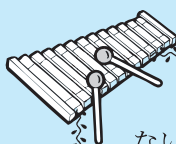
両親学級にて

足羽更生園



ひまわりの家活動にて

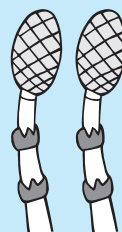
足羽東保育園



子ども達が普段は触れることの少ない“本物の音楽”を広いハーモニーホールの音楽堂で鑑賞しました。

マリンバの軽やかな音色にじっと聴き入ったり、知っている曲を歌ったりなど楽しんでいました。

ちびっこコンサート鑑賞にて



笑顔に 会いに行きます

私は毎週日曜日、ボランティアとして足羽学園に寄せてもらっています。
きっかけは単純で、ボランティアをしてみただけからです。最初はとても緊張していましたが、職員さんに「話し相手でも良いですよ。」とお言葉をいただき、学園さんのボランティアを決意したことを思い出します。
初めてみなさんと話したときも緊張しましたが、今ではみなさんの笑顔に会いに行っている自分を感じ、至らないことだらけの僕を受け入れて下さって感謝しています。
これからも、みなさんに教わりながら、続けていきたいです。

みんなの広場



敬称略させていただきました。



楽しくお話し中の大橋さん(右)

足羽学園ボランティア

大橋 寛孝

「子どもに何を願いますか」
を読んで子どもが産まれた時の何の欲もなく、この子が元気にすくすく大きくなってくれたら・・・と思っていたことを思い出しました。
だんだん大きくなるにつれ、私たち大人の思い通りにいかず(それは大きくなったことで当たり前のことなのですが)いろいろな欲も出てきて・・・何が一番大事なのか改めて考えさせられました。



幼児からお年寄りまでいろいろな福祉活動をしていらっしやること、愛道で知ることが出来ました。

現在、少年の犯罪などが増えており、小さい頃の子育てがいかに大切かが分かります。今は元気な私ですが、福祉職員の皆様にお世話にならないけません。お仕事に携っておられる方ご苦労様です。

上文殊駐在所

巡査部長 広瀬 修三

おばあちゃんのすてくろ

パート1

お花がイキイキ

皆さんの家庭で、部屋にお花を飾っている方も多いのではないのでしょうか。皆さんはどのようにしてお花を長持ちさせていますか？まずは、水の入れ換えをされていると思いますが、お花の元気がないときには、砂糖をほんの少し水に溶かして入れると、効果があるそうですよ。

きれいなお花が咲きはじめるこの時期、試してみたいかがでしょうか？

簡単！
おすすめ
おくら
なめたけ



〔材料〕

・ おくら

・ 瓶詰めのなめたけ

〔作り方〕

① おくらを塩茹でし、薄く輪切りにする。

② ①になめたけを少々加えて混ぜて完成。

※時間があれば、これにひじきにんじんの茹でたものを混ぜると、栄養たっぷりです。

こんな人 みつけた

第四回新一筆啓上賞「日本一小さな物語『父』との往復書簡」にて、足羽更生園職員の北さんの三女（侑希子さん）の作品が大賞に輝きました。



笑顔がステキな仲良し親子です♡

お父さんへ

お父さん、ちゃんとおふろに入んねや。それは、カラスのぎょう水って言うんやざあ。

侑希子へ

アホやなあ。これは省エネ対策って言ってな、地球にやさしい風呂の入り方なんやぞ。

「まさか賞を取るとは思わず、驚いた。娘はかわいくて、仲良しです」利用者の方にやさしく丁寧に接している北さんは、お家でもやさしいパパなんですよ。

個人外出の付き添い

〈内容〉

利用者の方と一緒に買い物、映画、食事などの付添いをしていただけの方を募集しています。

〈日時〉

土・日、祝日

※時間は毎回異なります

ボランティア
募集
in
足羽ワークセンター

お問い合わせ

TEL (0776) 41-3795

ボランティア担当 西本・岸田まで

喫茶店のお手伝い

〈内容〉

利用者の方と一緒に喫茶の準備や注文を聞いたり、後片付けなどのお手伝いをしていただける方を募集しています。

〈日時〉

毎週土・日、祝日

十三時四十五分から十五時

〈その他〉

年齢・性別・経験は問いません。



パート2

暮らしの
省エネ

冷蔵庫の
電気代節約術



常に電気を消費し続けている家電製品の代表が冷蔵庫です。それだけに使い方に気を付ければ大きな節約効果が見られます。具体的には、ドアの開閉は少なく手短にする、食品を詰め込

みすぎず（7割程度に抑える）冷気が満遍なく循環するようにする、などです。簡単なことで地球にも家計にも優しい省エネができるので、ぜひお試しください。